

きこえ・ことば

2023年2月
小学部自立活動担当

保護者のみなさま、いつも発音の宿題のチェックや、お子さんとの取り組みなど、ご協力くださりありがとうございます。今回は、冬場の補聴機器の管理、発音の授業で行っていること、そして、ご家庭でも取り組んでいただきたいことについてご報告いたします。

冬場の結露、要注意！！

年明けからの大寒波。天気予報で最低気温を見るたびに、ゾクツとしてしまいますね。立春が過ぎ、暦の上では春になったとは言え、まだまだ寒い日が続きます。この時期、ゾクツとしているのは、私たち人間だけではなく、お子さんが使っている補聴機器も同じです。先日発行した「補聴だより」でも触れましたが、今シーズンは例年よりも寒さが厳しいので、結露による補聴機器のトラブルが多発しています。「補聴だより」では、外気温と室内温度との差についてお伝えしましたが、もう1つお伝えしたいことがありますので、「きこえ・ことば」でも、「冬場の結露」について、再度取り上げることにいたします。



チューブに水滴がたまっていないか
チェック！ イヤモールドの中にも！

体温が高めのお子さん、代謝がよいお子さんのイヤモールドには、結露がたまりやすくなるそうです。それは、体温で温められたイヤモールドが、外気に触れることにより急激に冷やされ、結露が生じるからです。イヤモールドについての水滴や湿気をそのままにしておくと、音が聞こえたり聞こえなくなったりする症状が起こります。さらに、その水滴や湿気が、チューブを通過して補聴器や人工内耳プロセッサまで到達してしまうと、故障につながる恐れがあります。補聴機器の音を安定して聞き続けられるようにするために、お子さんと一緒に補聴機器のお手入れやチェックをしていきましょう。

- ① 補聴器や人工内耳プロセッサを外すときには、本体を乾いた布で拭き、チューブに水滴がたまっていないか確認してから、乾燥ケースに入れる。
- ② 電池ホルダーに湿気がついていないか、電池に湿気による錆がついていないかを確認する。
- ③ 夏場に使っている汗カバーを結露防止対策として使う。
- ④ 木綿糸をチューブに通し、湿気を吸い取るようにする。

※発音指導室には、強力な乾燥機が設置されています。お子さんが機器の不具合を感じ、乾燥を希望する場合には、担任に伝えてから発音指導室に来ることにしています。

バンザイ体操で姿勢矯正

授業中の子どもたちの姿勢がずっと気になっていました。私自身も、正しい姿勢を保持することに苦勞しており、腰痛の原因は、「姿勢の悪さにある」と理学療法士に指摘されたことがあります。そこで、姿勢を改善するためには、どうすればよいのかを調べてみました。すると、バンザイの姿勢を取ることが、姿勢改善につながるということが分かりました。実際にバンザイのポーズをして、手を天井に近づけるように意識すると、両脇が伸びる感覚や骨盤が立って猫背が改善



する感覚が分かります。早速、9月の中旬ごろから、発音の授業のはじめの時間に、バンザイ体操をすることにしました。やってみると、両腕・指先を伸ばすことが難しい子どもがいることがわかりました。一方で、「気持ちいい」と言って、すすんで体操を行う子どもも出てきました。回数を重ねるごとに、子どもたちも慣れてきて、脇が伸びる感覚を「気持ちいい」と感じるようになってきました。バンザイ体操をやったからと

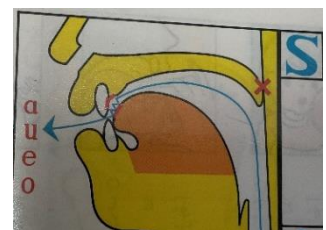
言って、すぐに姿勢改善がのぞめるわけではありませんが、継続することで、徐々に正しい姿勢を保持できる時間が長くなっていくことを期待しています。ご家庭でも、ストレッチの1つとして、お子さんと気軽に取り組んでみてはいかがでしょうか。

<バンザイ体操のやり方>

椅子に座った状態で行います。①両手を横からゆっくり上に上げます。②腕が耳につくくらいまで両手を伸ばし(バンザイのポーズ)、8秒間止めます ③ゆっくりと両手を元の場所に戻します。(肘を曲げないように、腕を伸ばし、②のときには、指先を天井になるべく近づけることを意識することがポイントです)

語感を発音学習に生かす② 「サ・ス・セ・ソ」の音は滑るように、速く！

サ・ス・セ・ソの音を作るための子音「s音」は、舌先を上の前歯の裏に近づけ、息をこするようになって出す音です。s音を作る際の舌の位置は、鏡では確認できないので、歯や舌の模型を使って、舌の位置を確認してから練習を始めています。「サ」の音の練習の際には、机の上を乾いた雑巾で拭くまねをして、「サーサー・・・」と練習しました。また、「ス」の音の練習の際には、スケートをする動きや泳ぐ動きをしながら



「ただしい はつおん」
生野塾学校編より

「スーイスーイ」と練習し、s音の滑る語感やスピード感を感じさせるよう工夫しました。サ・ス・セ・ソの音が言えるようになったら、「さっさと そうじをしよう」「せいりせいり とん できました」「せいつけんさだよ」などの文を発音し、s音のもつスピード感・清潔感を口の中でも感じられるようにしてみました。ご家庭でも、「s音の語感を味わえることば探し」をしてみてくださいはいかがでしょうか。

